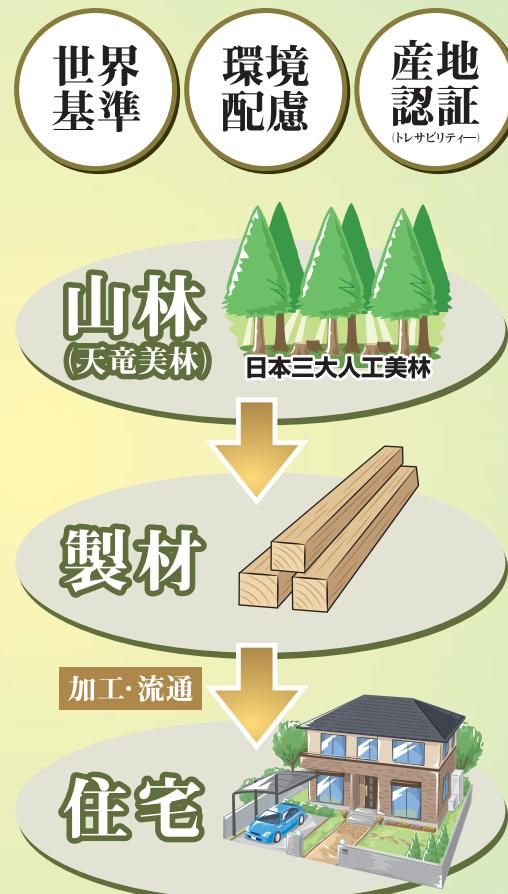


季刊 フジイチが送る総合情報誌

# 天竜の杉檜と生きる

新しい時代に向け…  
信頼の証を  
お届けいたします



Vol.14  
2011年始号

国際森林FSC認証COC取得!

FSC™ 森林認証をご存じでしょうか?

国際森林FSC認証には二つあり、ひとつは森林管理の認証であるFM認証と、そこから生産された木材を加工、流通、管理をするCOC認証からなるものです。1)世界基準、2)環境配慮、3)産地認証(トレサビリティー)が大きな特徴です。浜松市では「森林林業ビジョン」に従いFM認証取得に力を入れた結果、平成22年度には認証面積が26,800haになりました。浜松市の方針はもとより世界的な違法伐採は他人事ではありません。意を同じくする製材・流通20社と時を合わせCOC認証を取得しました。上記マークにあるC103226が(株)フジイチのライセンス番号です。より品質の確かな認証材を提供していきます。どうぞお見知りおきを。

今年も「天竜の杉檜と生きる」を心に刻み事業に邁進していきます。変わらぬご支援をよろしくお願ひ致します。

株式会社フジイチ 一岡

新しい年始まる!

2010年  
国際生物多様性年

→ 2011年国際森林年

イベント案内 NEW

祝 上棟!

製品部 内山 忠彦さん  
工場 鈴木 芳方さん  
山林部 大塩 秋さん



12月3日。天竜の杉檜と生きる「フジイチ」の材をご提供させていただいたお客様へ、上棟のお祝いに参りました。百年住まいの事業。今後も、ますます、山から家までの、1人1人の物語をお伝えいたします。

結婚おめでとう!

遠藤 理紗さん  
(旧姓 鈴木)

TEN  
RYU  
JIN  
GO  
天竜人語

当社では、毎年11月7日に山の講大会を執り行っています。山で働く20数名が一堂に会して一年の仕事を振り返り、安全に作業できたこと、そして山の恵みに感謝する祭を執り行います。中部山岳地方では初春(2月7日)、初冬(11月7日)の2度祭られています。以前、山に関わる仕事をしている人達は、この日は山に入つて仕事はしませんでした。製材所の人たちも仕事を休み、お祭りをして大変賑やかだったそうです。

午前中、安全綱領の唱和から始まり、講師を迎えて安全講習や勉強会、社労士による原因の追究と対策を考える時間。事故原因を様々な角度から検討し、事故を無くすための充実した時間が過ぎます。正午からは懇親会。お酒を酌み交わし、食事をしながら一年の反省と今後の安全を祈り楽しいひとときを過ごします。

代表取締役社長 鈴木 敬雄



## 会社概要

設立: 1946年  
社員数: 56名  
平均年齢: 45歳  
業務: 木材業製材業(立木の直接仕入)  
資本金: 3000万円  
住所: 浜松市天竜区船明880  
TEL: 053-926-1232  
FAX: 053-926-2879  
E-mail: info@fujiiichi.co.jp  
HP: http://www.fujiiichi.co.jp/



フジイチの大切なお客様に  
見学・体験会ご案内しています

詳しくはお電話で!  
053-926-1232



天竜杉

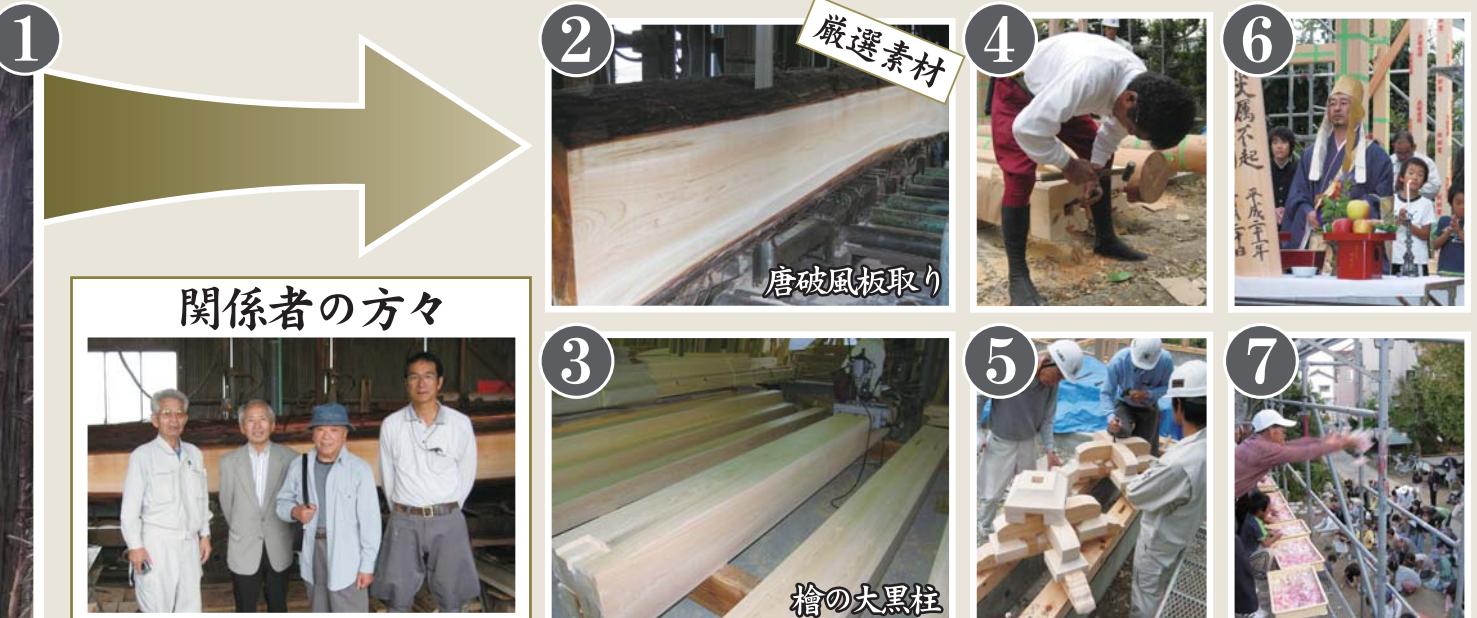
ホンモノ、伝統

天竜檜



# 栄秀寺庫裏 完成

フジイチだからこそ 立ち木 から選んで!  
地元の日本建築のために



## 天竜の山から ~浜松市中区領家町へ~

住所  
浜松市中区領家町429 栄秀寺

## 山林部 内山 勝

以前から懇意にさせていただいている友人(故)武藤博志さんからの紹介をいただき、栄秀寺住職(当時)桑山原龍さんから天竜の木を使い庫裏を建設したいとの思いを受けました。4年ほど前から(故)武藤さんをはじめ、桑山さん、光部建設会長さん、設計事務所の高橋さん、フジイチ内山と共に材料吟味に天竜の山を何度も歩きました。

玄関の顔でもある唐破風板取りの桧材は天竜区熊で調達。大黒柱尺角、8寸角なども天竜区熊、大井平産の桧材を使いました。唐破風板取りは全員立会いの中で製材し、唐破風板、輪タルキ、化粧タルキ、

玄関敷き台等、1本の木からそれぞれの部材を取りました。お寺の建築でも最近では米ヒバなどを使うことが多いですが、木工事を請け負った山喜建築さんの技術で天竜の杉、桧をふんだんに使った庫裏が完成しました。

是非一度、浜松市中区領家町栄秀寺をご覧ください。より多くの方々に触れていただけることを願っています。

ここに栄秀寺庫裏完成の模様を山から製材～大工～建設まで追ってみました。ご覧下さい。



**今月の  
びくちゃー**

**「この熱い視線の先は?!」**

むむ! この熱い視線はどこに注がれているんだ?  
愛らしい天然記念物のカモシカですが、最近、よく顔を出してくれます。  
だけど、お願いだから杉檜の苗を食べないでくれ〜…(涙)

## 「きこり」の休憩場(飯場)より

12月4日に恒例の伐採&工場見学ツアーを行いました。  
写真は昼食場所となった山頂からの展望です。眼下に船明ダムを一望し、遠くに遠州灘をうかがうことができます。山仕事の冥利に尽する風景&瞬間です!



## 平成22年度 2名の新入社員に聞く



内山 和則(29)  
Kazunori Uchiyama  
長野県飯田市出身



今年8月からの緊急雇用を経て入社しました。私は、林業関係の学校に行ったわけではないのですが、春は山菜取り、秋は松茸取りとたまにですが山に入っていました。それで自然の中で働けたら気持ちいいだろうなと思い、7月の下刈り体験ツアー参加をお願いしたのが入社のきっかけです。

今は、下刈りを中心に働いています。前職は刈り払い機をよく使う仕事だったので、ある程度は使いこなせるかなと思っていたのですが、実際は…。切る物が違うだけでこんなにも使い方が変わってくるのかと驚かされました。下刈りだけでなく、まだ覚えなければいけないことがたくさんあるので、わからないことがあれば積極的に聞いて少しでも先輩方の域に近づけるよう頑張りたいと思います。これからもよろしくお願ひします。



宮下 貴之(41)  
Takayuki Miyashita  
天竜区佐久間町出身



8月の緊急雇用から3か月が過ぎようとしています。皆さん親切にしていただき、毎日いろんな経験・そして勉強をさせていただき楽しく働いています。

私は、23歳の頃から木材関係に従事してきた自分がどのくらい会社に貢献できるのか、またいろいろな世代の方々と一緒に仕事ができるチャンスを活かしたいと思い入社しました。ベテランの皆さんや若い人たちの仕事の進め方や取り組む姿勢など、良いと感じたところは素直に見習い、取り入れ勉強させていただき、会社に貢献できるように進歩・成長していくたいと思います。一生懸命頑張っていきたいと思っていますので、皆様のご指導をよろしくお願ひします。